

1 記述問題の練習 (地理：世界の姿・人々の暮らし)

- (1) 例 1 日中太陽が沈まない現象。
例 太陽が地平線近くにあるため、沈んでも暗くならない現象。
- (2) 例 低緯度の地域では太陽光が多く届いて気温が高くなるが、高緯度の地域では届く光の角度が斜めで少なくなり、気温が低くなる。
- (3) 例 温暖な海流が沿岸を流れ、その上を吹く偏西風が陸地に暖かく湿った風を運ぶため。
- (4) 熱帯：例 風通しをよくして、湿気を防ぐため。
亜寒帯：例 建物の熱が地中に伝わり、永久凍土が解けてしまうのを防ぐため。
- (5) 例 強い日差しを防ぎ、通気性をよくするため。
- (6) 例 昼と夜の気温差が大きい気候に対応するため。

解説

- (1) 白夜は地平線の下に太陽が沈まず薄明るいままだが、逆に冬には1日中太陽が昇らず薄暗いままの「極夜」となる。
- (2) 太陽光の差し込む角度が直角（真上）に近いほど日差しは強く、斜めになる（水平線に近づく）ほど日差しは弱まる。
- (3) 偏西風は1年中、西から東へ吹いており、季節風のような風向きの季節変化が小さいため、陸地側の気温・降水量の変化も比較的少ない。
- (4) 熱帯では、野生生物の侵入を防ぐなどの理由もある。
- (5) 乾燥帯では、気温は高いが湿度が低いため、日差しがさえぎられるだけでも過ごしやすくなる。
- (6) 高山では日中と夜間の気温の差（日較差）が大きい。ポンチョは脱ぎ着しやすいという利点もある。

2 時差の計算の問題 (地理)

- (1) 9 時間
- (2) 7 時間
- (3) 1 月 1 日午前 0 時
- (4) 7 月 31 日午後 8 時 45 分

解説

- (1) 東京とロンドンの経度差は、 $135 - 0 = 135$ (度)。
よって、時差は $135 \div 15 = 9$ (時間)。
- (2) カイロは東経 30 度でワシントン D.C. は西経 75 度。2 地点の経度差は $30 + 75 = 105$ (度)。
よって、時差は $105 \div 15 = 7$ (時間)。
- (3) マダガスカルと日本の経度差は、 $135 - 45 = 90$ (度)。よって、時差は $90 \div 15 = 6$ (時間)。
- (4) 東京は東経 135 度でバンクーバーは西経 135 度。2 地点の経度差は $135 + 135 = 270$ (度)。
よって、時差は $270 \div 15 = 18$ (時間)。バンクーバーは日本から日付変更線を挟んで東側にあるため、日本よりも日付が遅い。

出発時に日本が 8 月 1 日午前 5 時だと、バンクーバーはその 18 時間前の 7 月 31 日午前 11 時。そこから航空機に乗っている時間 (9 時間 45 分) を進めると、バンクーバーへの到着は 7 月 31 日午後 8 時 45 分となる。

3 記述問題の練習 (地理：世界の諸地域)

- (1) 例 夏は海から大陸に向かって吹き、冬は大陸から海に向かって吹く。
- (2) 例 時差によって、アメリカなどの企業と 24 時間体制で作業ができるため。
例 かつてイギリスの植民地だったことから、現在も英語が準公用語として使用されており、欧米企業とのやりとりがしやすいため。
- (3) 例 かつて植民地だった時代に、民族に関係なく境界線が引かれたから。
- (4) 例 西ヨーロッパの加盟国は早くから資本主義を導入して経済水準の高い国が多いが、東ヨーロッパの加盟国はかつて社会主義だった国が多く、経済発展が遅れたため。
- (5) 名称：ヒスパニック
理由：例 仕事や高い賃金を得るため。
- (6) 利点：例 植物由来の再生可能エネルギーのため、環境への負荷が少ない。
問題点：例 原料であるさとうきび向けの農地を広げるため、森林の伐採が進むおそれがある。

解説

- (1) 季節風（モンスーン）は、大陸と海の温まりやすさの違いで、夏と冬でそれぞれの気圧が変化することにより、風向が変わる。
- (2) ほかに、「新しい産業である ICT 関連産業は、根強く残るカーस्ट制度の影響を大きく受けず、人材が集まりやすいため。」などがある。
- (3) 民族や文化の違いを無視して国境（かつての境界線）が引かれたことにより、民族が分断されたり、複数の民族が混在したりして、争いが起きやすくなった。
- (5) 政情不安や治安悪化などから逃れるため、という場合もある。
- (6) 利点：ほかに、「化石燃料の使用を減らすことができる。」「化石燃料よりも二酸化炭素排出量が少ない。」など。
問題点：ほかに、「原料のさとうきびなど、食料価格の高騰につながる可能性がある。」など。

4 記述問題の練習 (地理：日本の姿)

- (1) 例 日本は島国で海岸線が長く、離島も多いため。
- (2) 例 大陸からの冷たく乾いた季節風が日本海の上空で湿った風となり、日本の内陸の山々にぶつかる

ことで、その手前に雪を降らせるから。

- (3) ④ 年少人口が少なく、老年人口が多い。
- (4) ④ 電子機器や家電には希少金属が使われており、都市に多く集まるそれらを回収することで、再資源化できるから。
- (5) ④ 他の地域と出荷時期をずらすことで、高い価格で売ることができる。
- (6) ④ 原料を船で輸入しており、輸送に便利だから。

解説

- (1) 日本の排他的経済水域と領海を足した面積は、国土面積の約 12 倍ある。
- (2) 奥羽山脈や越後山脈、飛騨山脈などの南北に連なる高い山々の西側で降雪（降水）量が増える。
- (3) 先進諸国では、少子高齢化が進んでいる。
- (4) 希少金属は生産できる国や地域が限られており、国内での再資源化を進めるため、家電リサイクル法や小型家電リサイクル法などが整備されている。
- (5) 抑制栽培は、標高の高い地域での夏のキャベツ・レタス栽培など、促成栽培は、温暖な宮崎平野や高知平野でのピーマン栽培など。
- (6) 鉄鉱石や石油など重工業の原料は、タンカーなどの船舶によって輸送される。

5 記述問題の練習（地理：日本の諸地域）

- (1) ④ シラス台地は水はけがよい「水もちが悪い」ため、水田には向かず、畑作に向いているから。
- (2) ④ 瀬戸内海は内海で、波がおだやかなため。
- (3) ④ 歴史的な町並みや景観を守るため。
- (4) ④ 国内で製造品出荷額が最も多く、なかでも自動車関連産業を中心とする機械工業の割合が大きい。
- (5) ④ 日中は都心の職場や学校に通う人々が、夜は郊外の自宅へ帰るため。
- (6) ④ 高速道路が開通して工場が進出し、働く場所が増えたから。
- (7) ④ 客土を行って土壌を改良し、寒さに強い稲の品種改良を進めた。

解説

- (1) 火山噴出物からなるシラスは、水を通しやすい。
- (2) 複雑な海岸線に囲まれているのも、養殖漁業に向いている。のりやかき、ぶりなどの養殖がさかん。
- (3) 人口流出問題などの解決のため、近年、高さ制限を緩和する動きもある。
- (4) 豊田市を中心に自動車関連産業がさかん。
- (5) 都心に通勤する人々の住宅地として、郊外にベッドタウンが発達した。
- (6) 高速道路の開通で輸送が高速化し、また広い土地と、都市部に比べて安価で豊富な労働力が確保できることから、地

方の高速道路沿いに工場の進出が進んだ。

- (7) 北海道には泥炭地などが広がり、耕作には不向きな土地が多かった。客土が本格的に行われたのは、昭和時代になってから。北海道の銘柄米に、「ゆめぴりか」や「ななつぼし」などがある。

6 記述問題の練習（歴史：原始～平安時代）

- (1) 名称：高床倉庫
特徴：④ 高床にすることで湿気を防ぎ、動物などの侵入も防いでいる。
- (2) ④ 大和政権の勢力は、関東や九州にまでおよんでいたと考えられる。
- (3) ④ 権力を独占する豪族を倒し、天皇中心の国づくりを目指した。
- (4) ④ 仏教の力によって、国を安定させるため。
- (5) ④ 娘を天皇の后にして、生まれた子を次の天皇にした。
- (6) ④ 東北で起こった前九年合戦や後三年合戦を源氏が鎮圧したから。
- (7) ④ 神戸に港を整備して、日宋貿易を行った。

解説

- (1) 地上につながる柱と床板の間には、ネズミの侵入を防ぐしかけ（ネズミ返し）もつくられた。
- (2) 雄略天皇は、中国の「宋書」に記された倭の五王の一人、「武」であるとする説が有力である。
- (3) 豪族による土地や人民の私有を廃止して、天皇中心の中央集権国家をつくろうとした。
- (4) 奈良時代のこのような、仏教により災厄をはらうという考え方を、鎮護国家という。
- (5) 道長は、天皇の外祖父（外戚）として権力をふるった。
- (6) 前九年合戦や後三年合戦は、豪族の反乱であった。
- (7) 整備された港（大輪田泊）は、日宋貿易の拠点となった。

7 記述問題の練習（歴史：鎌倉時代～室町（戦国）時代）

- (1) ④ 家臣である御家人を、荘園や公領を管理する地頭と、国の軍事や警察を担う守護に任命して全国に設置することで、支配力を高めようとしたから。
- (2) ④ 京都の朝廷を監視するため。
- (3) ④ 平安時代は貴族が中心の華やかな文化だったが、鎌倉時代は武士を中心とする力強い文化が発展した。
- (4) ④ 天皇中心の政治を行おうとして、武士の反発をまねいたため。
- (5) ④ 守護大名は領国で力をもつようになった守護のことだが、戦国大名は下剋上によって台頭した。
- (6) ④ 領国の家臣や領民を統制するため。

- (7) 例 中国との朝貢貿易で得た品物をもとに、日本や朝鮮、東南アジア諸国などを行う貿易。

解説

- (1) 源頼朝が守護・地頭を全国に設置した 1185 年を、鎌倉時代の始まりとすることもある。
- (2) 承久の乱ののち、鎌倉幕府の勢力範囲は西日本まで広がり、朝廷を上回る権力をもつようになっていった。
- (3) 平安時代には和歌や雅楽、物語などの芸術がさかんとなった。鎌倉時代は、東大寺の金剛力士像などの力強い彫刻、随筆や、武士の活躍をえがいた軍記物が発達し、新しい仏教が武士や庶民に広がった。
- (4) これまでの武士のしきたりを無視し、天皇に権力を集中させる政策を行おうとした。武士や庶民の反感をかい、足利尊氏らの離反によって 2 年余りで建武の新政は終わった。
- (6) 分国法は、鎌倉時代初期の御成敗式目を参考に、戦国大名が制定した法令。
- (7) 貿易品の仲立ちをするかたちとなる。倭寇以降、日本は中国と正式な貿易を行っておらず、琉球王国を介して中国の品物を輸入していた。また、地理的に各国の中間地点にあったことも利点となった。

8 記述問題の練習（歴史：江戸時代①）

- (1) 名称：幕藩体制

内容：例 幕府〔将軍〕と藩〔大名〕が全国の土地と人民を支配する体制。

- (2) 例 大名〔藩主〕は 1 年ごとに領地と江戸を往復し、妻子は江戸に住まわせることとされた。

- (3) 例 キリスト教の信仰が幕府や将軍への忠誠に影響を与え、反乱も起こるようになったため。

- (4) 改革：享保の改革

内容：例 新田開発を進めて、豊作・不作に関係なく一定の年貢を取り立てた。

例 裁判の基準となる公事方御定書をつくった。

- (5) 例 これまでの農業中心から、商工業を中心にした経済政策によって、財政を立て直そうとしたため。

- (6) 改革：寛政の改革

内容：例 質素・倹約を命じた。

例 凶作やききん対策で、米を備蓄させた。

解説

- (1) 江戸幕府による封建的支配体制は、約 260 年続いた。
- (2) 江戸に妻子を残して人質にすることで、大名が幕府に逆らえないようにした。
- (3) 初めは貿易の利益を得るためキリスト教の布教を容認していた。教会への領地の寄進や、島原・天草一揆により、キリスト教への取り締まりが厳しくなった。
- (4) ほかに、庶民の意見を聞くために目安箱を設けるなどした。
- (5) 経済は発展したものの、わいろや不正が横行した。

- (6) ほかに、御家人や旗本の借金を一部帳消しにしたり、朱子学以外の学問を公的に禁止したりした。

9 記述問題の練習（歴史：江戸時代②）

- (1) 文化：元禄文化

特徴：例 商業の発達と都市の繁栄で、経済的なゆとりをもつようになった上方の町人たちが担い手となった。

- (2) 例 綿花や紅花などの特産物が商品作物としてつくられるようになり、それらの売買で、貨幣の普及が進んだ。

- (3) 例 天保のききんによる米不足や、役人の腐敗を訴えるため。

- (4) 改革：天保の改革

理由：例 株仲間が独占していた商品の取り引きを自由化することで、経済を活性化させようとしたから。

- (5) 例 攘夷をあきらめ、倒幕運動を進めるようになった。

- (6) 例 政権を朝廷に返した。

解説

- (1) 上方では、豪商など豊かな町人が中心となったが、のちに江戸で栄えた化政文化は、庶民が中心となった。これは教育が普及して識字率が上がったことや、出版業が発達して手軽に書物や絵画を手に入れられるようになったことが影響している。
- (2) 商品作物は、家内制手工業により、製品に加工された。
- (3) 反乱は半日で鎮圧されたが、元役人が起こした反乱ということで、幕府に与えた衝撃は大きかった。
- (4) 当時は物価が高騰していたが、営業を独占していた株仲間が解散したことで流通が混乱し、さらに物価が上がることとなった。
- (5) 長州藩は、薩摩藩とともに倒幕運動の中心となった。
- (6) 1867 年に徳川慶喜により大政奉還が行われ、同年末に明治天皇の名で王政復古の太皇令が出された。

10 記述問題の練習（歴史：明治時代～第二次世界大戦）

- (1) 例 藩主が治めていた土地と人民を、天皇に返させた。

- (2) 例 不平等条約を改正すること。

- (3) 法令：徴兵令

内容：例 すべての満 20 歳以上の男子に兵役の義務を課した。

- (4) 例 ロシアの南下を防ぐため、日本を味方にして協力させようとした。

- (5) ①例 アメリカへの生糸の輸出が激減し、価格が暴落したため。
- (6) ①例 長引く日中戦争による物資不足や、アメリカからの輸出制限などを受け、資源を求めて東南アジアに進出したため。

解説

- (1) 版籍とは、土地（版図）と人民（戸籍）のこと。
- (2) 幕末に欧米と結んだ条約は、相手国に領事裁判権を認め、日本に関税自主権がない不平等条約だった。
- (3) 当初は多くの免税規定があり、富裕層らが兵役の負担を回避することができる、不平等な政策であった。徴兵令は富国強兵策の1つで、近代的な軍隊の設置が進められた。
- (4) ロシアは黒海や中央アジアへ南進していたが、クリミア戦争に負けたことで、東アジアへの進出をはかっていた。
- (5) ほかに米・まゆなどの農産物の価格が下がり、農村の経済は大打撃を受けた。
- (6) 1941年7月、日本はフランス領インドシナ南部に進駐し、8月にアメリカは対日石油輸出を全面禁止した。当時の日本は石油の多くをアメリカからの輸入に頼っていた。

11 記述問題の練習（歴史：第二次世界大戦以降）

- (1) ①例 大日本帝国憲法では天皇は立法・行政・司法などにおいて幅広く権限をもっていたが、日本国憲法では、日本国と国民統合の象徴として、国事行為を行うのみとなっている。
- ②例 大日本帝国憲法では主権は天皇にあったが、日本国憲法では国民に主権がある。
- (2) ①例 アメリカを中心とする資本主義体制の国々と、ソ連を中心とする社会主義体制の国々との対立。
- (3) ①例 アメリカ軍が軍需物資を日本で調達したため、特需が起こった。
- ②例 アメリカ軍が朝鮮半島へ戦力を投入したため、日本国内の治安維持のために警察予備隊が設置された。
- (4) ①例 会議に参加した多くの国が、かつての欧米の植民地から独立した国々だった。
- ①例 欧米の植民地支配から独立した国々が、東西冷戦に対して中立の立場を示した。
- (5) ①例 国連の安全保障理事会で拒否権をもつソ連が日本の国連加盟に反対していたが、日ソ共同宣言により両国の国交が回復したため。
- (6) ①例 第四次中東戦争が起こり、産油国が石油価格の引き上げなどを行ったため。

解説

- (1) ① 天皇がもっていた政治上の権限を、天皇大権という。
- ② 前者を天皇主権、後者を国民主権という。

- (2) 対立は戦火を交えないため、冷たい戦争（冷戦）と呼ばれた。
- (3) ① 戦争による特需は一時的、限定的なものであった。
- ② 警察予備隊は、のちに自衛隊に改組された。
- (4) アジア・アフリカ諸国による初の国際会議でもあった。
- (5) 国交は回復したが、北方領土問題は先送りにされた。
- (6) 石油資源を中東諸国にたよっていた先進国は、大きな打撃を受けた。日本ではインフレが加速した。

12 日本国憲法①

- | | |
|---------|---------|
| ① 象徴 | ② 国事 |
| ③ 助言と承認 | ④ 指名 |
| ⑤ 任命 | ⑥ 指名 |
| ⑦ 任命 | ⑧ 戦争 |
| ⑨ 武力 | ⑩ 永久 |
| ⑪ 基本的人権 | ⑫ 永久 |
| ⑬ 個人 | ⑭ 公共の福祉 |
| ⑮ 平等 | ⑯ 差別 |
| ⑰ 健康 | ⑱ 文化的 |
| ⑲ 教育 | |

13 日本国憲法②

- | | |
|----------|--------|
| ① 勤労 | ② 納税 |
| ③ 最高機関 | ④ 立法機関 |
| ⑤ 40 | ⑥ 30 |
| ⑦ 3分の2以上 | ⑧ 行政権 |
| ⑨ 文民 | ⑩ 国会 |
| ⑪ 連帯 | ⑫ 司法権 |
| ⑬ 住民 | ⑭ 選挙 |
| ⑮ 3分の2以上 | ⑯ 国民投票 |
| ⑰ 過半数 | |

14 記述問題の練習（公民①）

- (1) しくみ：①例 国の権力を、立法権、行政権、司法権の3つに分けるしくみ。
- 利点：①例 権力の集中を防ぎ、たがいに監視しあうことができる。
- (2) ①例 人権を保護し、裁判の誤りを防ぐため。
- (3) ①例 内閣は国会の信任を受けて成立し、国会に対して連帯して責任を負う制度。
- (4) ①例 より慎重な審議を行うことができるため。
- (5) ①例 課税対象の金額にあわせて、税率を上げる制度。

- (6) ④ 株式を発行して出資者から資金を集め、その資金をもとに経営する会社のこと。
- (7) ④ 労働者が企業に対して、労働条件の改善などの交渉を団体で行うため。

解説

- (1) フランスの哲学者であるモンテスキューが提唱し、フランス革命にも影響を与えた。
- (2) 第一審に不服の場合は控訴、第二審に不服の場合は上告することで、最大3回裁判を受けることができる。
- (3) 国会の意思で内閣が成立する。
- (4) ほかに、「国民の多様な意見や利益を反映させることができるため。」など。
- (5) 所得税では、所得の多い人ほど、税の負担が大きくなる。日本では、ほかに相続税や贈与税が累進課税となっている。
- (6) 出資者のことを株主という。
- (7) 労働組合は、労働者2人以上の合意と宣言があれば自由に結成できる。弱い立場の労働者が団結することで、企業と対等な立場で交渉しやすくなる。

15 記述問題の練習(公民②)

- (1) ④ 消費が拡大して、景気よくなる。
- (2) ④ 需要量に対して、供給量が不足している。
- (3) ④ 一般廃棄物とされていた容器包装を、資源としてリサイクルすることを定めた法律。
- (4) ④ 再生可能エネルギーは、温室効果ガスの排出量が化石燃料にくらべて少ないため。
- (5) ④ 様々な分野で、個人情報の利用が拡大している中で、個人の権利や利益を守るため。
- (6) ④ 発展途上国の中で、資源を持つ国と持たない国との間にある経済格差の問題。

解説

- (1) 逆に賃金が伸び悩んで雇用が減少すると、消費は縮小し景気は悪くなる。
- (2) 需要と供給がつりあっている価格を、均衡価格という。
- (3) リサイクル法には、家電リサイクル法、小型家電リサイクル法、食品リサイクル法、自動車リサイクル法など各種ある。
- (4) 再生可能エネルギーは、自然界に存在し、枯渇することがないのも利点である。
- (5) 高度情報通信社会のなかで、適切な個人情報の取り扱いが求められている。
- (6) 世界的な資源の争奪戦にともない、1980年代以降に顕著となった。